

レジメン番号	0252	レジメン名	R±GEM
登録診療科	血液内科	使用薬剤	リツキサシマブ BS、 ジェムザール
がん腫	悪性リンパ腫	インターバル日数	28 日

【投与量・投与スケジュール】

薬品名 投与量/体表面積	投与方法	患者投与量	Day1 (/)	8 (/)	15 (/)	…Day28	Day1 (/)
リツキサシマブ BS 375 mg/m ²	点滴	mg	(↓)			1 コース 28 日 として繰り返す	↓
ジェムザール(GEM) 1000/m ²	点滴	mg	↓	↓	↓		↓
(支持療法) ※1 Day1 経口剤あり							
グラニセトロン 1mg	点滴	1A	↑	↑	↑		↑

【当日の投与方法】

薬品名	規格	希釈液/量	投与速度/方法
①リツキサシマブ BS	100mg	生食	※2 下記参照/輸注ポンプ
	500mg	初回：1mg/mLに希釈 2回目～：1~4mg/mlに希釈	
②ジェムザール(GEM)	200mg	生食 100ml	30分/側管点滴
	1000mg		30分/点滴(D8)
③グラニセトロン	1mg	生食 100ml	30分/側管点滴 30分/点滴(D8)

【day1】 リツキサシマブ+GEM の場合

投与間隔≫ ※3 (メインルート/持続)

(側管/30分)

(側管/30分)

投与順番≫ ④ → ① → ③ → ② → 終了

【day(1,8,15)】 GEM のみの場合 (リツキサシマブ併用でない患者)

投与間隔≫

(点滴/30分)

(点滴/30分)

投与順番≫ ③ → ② → 終了

【備考】

※1 リツキサシマブ BS 投与前、解熱鎮痛剤及び抗ヒスタミン剤の予防投与を行う

※2 初回投与時、最初の 30 分は 50mg/h で開始し、患者の状態を十分観察しながら、

注入速度を 30 分毎に 50mg/h ずつ上げて、最大 400mg/h まで速度を上げることができる。

2 回目以降の投与速度は下記のいずれかを選択可能 (リツキサシマブ BS は(2)を選択不可)

(1)初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/h で開始し、その後 30 分毎に 100mg/h ずつ上げて、

最大 400mg/h まで上げることができる。(1mg/ml に希釈しているときのみ選択可能)

(2)臨床的に重篤な心疾患がなく、初回投与時に発現した副作用が軽微であり、かつ投与前の末梢血リンパ球数が

5,000/μL 未満である場合、90 分で投与 (最初の 30 分：投与量の 20%、その後 60 分：投与量の 80%)

※3 ④生食 500mL (メインルート) Day1 のみ